

令和4年度

自己評価表

大阪ITプログラミング&会計専門学校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和4年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。学園名物の第1回就職出陣式、第1回合格祝賀会開催。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。

～ 中 略 ～

- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に36名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 第30回記念合格祝賀会を盛大に開催。国税専門官試験26年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部 学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2022年 公認会計士試験現役合格21名、税理士試験現役合格5名
法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来16年連続現役合格
経済産業省高度情報技術者試験（データベース・ネットワーク・情報処理安全確保支援士）現役合格28名
応用情報技術者試験現役合格61名
基本情報技術者試験現役合格434名
総合旅行業務取扱管理者試験現役合格48名
国内旅行業務取扱管理者試験現役合格124名（入学後半年合格116名）
国家公務員総合職・一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1,006名、
公務員初級等現役合格4,884名／警察官・消防官・自衛官現役合格3,132名／等
（2023年3月卒業生 高校卒業生対象専門課程／1次筆記合格のべ）
民間企業就職率99.47%（2023年3月卒業生 高校卒業生対象専門課程）
専門学校日本動物21、日本動物専門学校、名古屋動物専門学校、大阪動物専門学校、大阪動物
専門学校天王寺校が、愛玩動物看護師法（令和元年法律第50号）第31条第2号に基づく愛玩
動物看護師養成所の指定を各都府県知事から受ける。

2. 学校の教育目標および特色

本学は、学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、商業実務に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。

本学の特色は、公認会計士、税理士、情報処理技術者試験、旅行業務取扱管理者試験などの国家試験や日本商工会議所簿記検定などの資格試験の合格者が出ていることと、民間企業就職率も高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
ハ・理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
ニ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入し、明るく楽しい学園生活と、資格取得実績、民間企業就職実績を両立している。

また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。

なお、今年度におけるゼミ学習については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ・運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ・人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
ニ・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
へ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパス

ライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。

情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ヘ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
ト・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
チ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
リ・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学の授業は開学以来ゼミ学習方式を採り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。

カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。また、授業運営をより客観的に把握するため学生による授業評価アンケートを実施している。

平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、2年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を各学科で行っている。

令和元年度よりGPA算定をするため、システムを改修し導入した。算定についてはホームページにも公表している。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で一部オンライン授業を実施した。オンライン授業についてはMicrosoft Teams、Office365 および zoom を利用した。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

入学直後の新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、学内就職セミナー等を行っている。学内就職セミナー等もオンラインも含め多数の企業に参加していただいている。

学科・コースごとに目標とする資格を明確にして過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果となりあらわれている。合格者は毎年ホテルニューオータニ大阪で行われる合格祝賀会に招待されることも学生のモチベーションを高めている。

退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにしている。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心がけている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。無断欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。

担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、合格祝賀会は規模を縮小して実施し、就職出陣式は中止とした。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ヘ・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
ト・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。
学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。

本学の特別奨学生試験、各種特待生制度や経済的理由による修学支援奨学生制度は、貸与ではなく給付である。

令和4年度も高等教育無償化の修学支援対象校として大阪府より確認された。

新型コロナウイルス感染症対策として、登校時に検温および消毒をして、授業開始前には体調チェックシートの記入してきた。定期的に机、椅子、扉の取っ手、スイッチ、水道栓などの消毒をして、教室・建物の中の換気も行ってきた。また、教室内の座席やエレベータなどソーシャルディスタンスを保つようにしてきた。昼食時の黙食も指導してきた。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
ロ・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。

防災指導者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施している。

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
ロ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
ハ・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

AO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。またオンラインによる面談も行っている。

取得資格実績・就職実績は、本人の了承を得て、合格試験名、企業名、氏名、出身校名などを明示する

ことにより志望者、保護者の方から信用の得られる内容となっている。就職についても正社員であることにこだわって就職指導をしている。

入学者に対するアンケートを実施し、その結果、卒業生の活躍が入学にあたり大いに参考になったという意見が多かった。

令和4年度もオンラインによるオープンキャンパスを行っている。

また、LINE、Twitter、Facebook、YouTube を利用した情報提供を行っている。

(8). 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
ロ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
ハ・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
ニ・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
ロ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
ハ・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
ニ・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

毎年、大阪府専修学校各種学校連合会より講師を招いて人権研修を実施している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。

本学では信ぴょう性を確保する目的で、学生の了承を得られる場合においては国家試験等合格情報や就職実績の情報を個人名や出身校名を出して掲載している。この場合においては、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。

個人情報保護に関しては、個人情報保護規程を設定しており、またプライバシーポリシーを設定し公開

している。

自己点検・自己評価については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果もホームページに公開している。

学生向けに「SNS利用についてのガイドライン」を配布し、利用上の注意を周知している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
ロ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
ハ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。

② 今後の改善方策

地域社会への貢献として捉え、学生の参加、協力も積極的に考慮していく。

③ 特記事項

毎年大阪市立上福島小学校において「ふれあいコンサート」を開催している。このコンサートは吹奏楽部、和太鼓部が参加し好評を得ている。また、学生への情報提供、省エネ、エコ活動の取り組みなどを行っている。なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握して評価している。学生は近隣の道路清掃などを行っている。